

衆議院国土交通委員会ニュース

【第 200 回国会】令和元年 10 月 30 日（水）、第 2 回の委員会が開かれました。

1 国土交通行政の基本施策に関する件

- ・赤羽国土交通大臣、平内閣府副大臣、御法川国土交通副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。（質疑者）小里泰弘君（自民）、岡本三成君（公明）、馬淵澄夫君（立国社）、古川元久君（立国社）、谷田川元君（立国社）、道下大樹君（立国社）、矢上雅義君（立国社）、高橋千鶴子君（共産）、井上英孝君（維新）

（質疑者及び主な質疑事項）

小里泰弘君（自民）

- （1） 今般の台風による豪雨災害からの復旧に向けた現場の要員確保の取組
- （2） 再度災害防止のための改良復旧事業の活用促進に向けた取組
- （3） 社会資本整備の進展による防災・減災効果を適切に検証し優良事例の横展開を図っていく必要性
- （4） 道路施設の防災・減災効果についての認識
- （5） 予防保全型のインフラメンテナンスへの転換についての方針
- （6） 我が国の社会資本整備水準が海外と比較して低いことへの認識及び今後の社会資本整備方針
- （7） これまでの災害の教訓を踏まえた防災・減災のための社会資本整備に関する中長期的目標を定める必要性についての大臣の見解
- （8） タクシーの公共性に鑑みタクシー運賃の実質改定を速やかに認可する必要性

岡本三成君（公明）

- （1） 近年の水害の激甚化及びその常態化に対応した水害対策への取組方針
- （2） 令和 12 年度完成予定の荒川第二・第三調節池を早期に完成させるための特別措置の必要性
- （3） タイムラインに係る動画等国土交通省作成動画に字幕を付ける必要性
- （4） タクシー運賃の改定に係る申請への早期対応及びタクシー事業者に対する支援の必要性

馬淵澄夫君（立国社）

- （1） ハッ場ダム
 - ア ハッ場ダムの有効貯水容量、洪水期利水容量及び洪水調節容量
 - イ 台風第 19 号による豪雨直前のハッ場ダムの貯水量
 - ウ 仮にハッ場ダムが試験湛水中でなく通常運用であった場合においては緊急放流を行うこととなった蓋然性
 - エ 単独のダムの貯水による河川の流量減少への影響を検証したことの有無
 - オ 台風第 19 号による豪雨時のハッ場ダムの治水効果について今後検証することに対する大臣の所見
 - カ 台風第 19 号による豪雨に対するハッ場ダムの治水効果の有無についての見解
- （2） 鉄道会社のタイムライン
 - ア JR 東日本の長野新幹線車両センターが千曲川氾濫時の浸水想定区域内にあると認識していたかの確認
 - イ 千曲川氾濫時に新幹線車両の事前退避が想定されていたかの確認
 - ウ 海外の事例を踏まえ、今後、鉄道会社にタイムラインへの車両の事前退避の記載を求めることについての大臣の見解

- (3) 一般市民には違いのわかりにくい「指定緊急避難場所」と「指定避難所」のネーミング及びマーク等について再検討を行う必要性

古川元久君（立国社）

- (1) 台風第 19 号
- ア 仮設住宅の入居基準の弾力的、柔軟的運用の必要性
 - イ 上田鉄道の鉄橋崩落に伴うバス代替輸送の費用を国が負担する必要性
 - ウ 長野県を始めとする被災県に対する観光支援策
 - エ ボランティアの人に対する高速道路無料の周知徹底及び観光支援のための高速道路無料化、定額化を検討する必要性
 - オ 電柱倒壊による大規模停電を踏まえ、これまでと次元の異なるレベルの無電柱化推進計画を作成する必要性
- (2) 住宅産業の振興
- ア 住宅着工の見通し及び消費増税対策終了後の更なる対策の必要性
 - イ 次世代住宅ポイント制度の利用促進と有期限であることの周知徹底の必要性

谷田川元君（立国社）

- (1) 災害の激甚化・頻発化の背景にある地球温暖化の進行に対する大臣の認識
- (2) 台風第 19 号
- ア 気象庁が「狩野川台風に相当する」と表現したことが適切であったかを検証する必要性
 - イ 気象台、河川事務所と自治体が明確な基準に従って役割分担を行っていたかを検証する必要性
 - ウ 利根川の無堤防地区の早急な築堤の必要性
- (3) 千葉県内の圏央道未開通区間整備の経緯
- ア 民主党政権下における公共事業費削減の影響の有無
 - イ 民主党政権時の圏央道千葉県部分の整備事業費の状況
- (4) 成田空港
- ア 羽田空港の 4 本目の滑走路建設に当たり千葉県の多大なる協力があったことに対する大臣の認識
 - イ 羽田空港国際線の就航に関して千葉県の意向を尊重する必要性
 - ウ 四者協議会（国、千葉県、空港周辺 9 市町、空港会社による協議会）で第 3 滑走路の整備等の機能強化について最終合意がなされ、横芝光町長が機能強化を受け入れたことへの評価
 - エ 横芝光町中心部から空港までのアクセス道路建設の実現に向けた大臣の見解
 - オ 成田空港と羽田空港を結ぶ都心直結線の構想についての検討が進まない理由
 - カ 成田高速鉄道の土屋駅設置の要望に対する大臣の見解
- (5) 衆議院の解散は「総理の専権事項」ではなく「内閣の専権事項」ではないかとの考えに対する大臣の所見

道下大樹君（立国社）

- (1) 台風第 19 号により被害を受けた鉄道事業者に対する支援
- ア バス等による代替輸送・振替輸送を実施している事業者への支援策の有無
 - イ 鉄道軌道整備法の適用要件の緩和及び補助割合引上げの必要性
- (2) タクシーの運賃改定
- ア 前回の運賃改定からの経過年数
 - イ 申請された運賃改定の必要性についての見解

- ウ 物価問題に関する関係閣僚会議の形態
 - エ タクシーの運賃改定について消費者庁等が国土交通省に対し検討が必要であるとする意見を出した理由及びその法的根拠
 - オ 運賃改定の申請内容について消費者庁における精査の有無
 - カ タクシー運賃の実質改定の審査が継続とされた理由
 - キ タクシー運賃の実質改定を認可する必要性
- (3) ライドシェアについての大臣の認識

矢上雅義君（立国社）

- (1) ダムのいわゆる緊急放流（異常洪水時防災操作）及び事前放流
- ア 緊急放流の定義及び法令根拠
 - イ 国土交通省が管理者の異なるダムを含め複数のダムを統合管理する権限の有無
 - ウ 多目的ダムの事前放流を円滑に行うためのガイドライン等の策定状況及び今後の策定の考え
 - エ 既存ダムの構造設計上の事前放流への対応状況
 - オ 昼間の時間帯の優先や高潮の時間帯を避けるなど事前に緊急放流の時間帯を決めるプログラムを策定する必要性
 - カ ダムの緊急放流等についての大臣の考え

高橋千鶴子君（共産）

- (1) 「気候変動を踏まえた治水計画のあり方（提言）」（令和元年10月気候変動を踏まえた治水計画に係る技術検討会）に対する大臣の見解
- (2) 台風第19号及び低気圧による死者の詳細な死亡状況等の把握状況及び死因分析状況
- (3) 洪水ハザードマップの住民への周知や活用の推進に関する大臣の見解
- (4) 「災害・避難カード」の活用状況及び活用推進方策
- (5) 大規模氾濫減災協議会の活動状況及び河川流域住民の参画方策
- (6) 被災者生活再建支援制度の見直しの必要性に関する大臣の見解
- (7) 台風第15号からの一連の災害として家屋の被害認定調査を行う必要性

井上英孝君（維新）

- (1) 台風第15号及び第19号による災害への対応
- ア 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会期間中の台風襲来等による首都圏空港同時閉鎖に伴う混乱発生の防止策
 - イ 今回の台風を受けて治水対策を見直すに当たり、手段や費用対効果等を国民にわかるように提示及び周知し、十分な予算確保を図る必要性
- (2) 訪日外国人旅行者の増加への対応
- ア 持続可能な観光を実現するための政府全体での取組の必要性
 - イ 2025年大阪万博等に向けて、関西国際空港を中心とした関西3空港の旅客受入能力拡大の必要性
- (3) 高齢運転者による交通事故対策
- ア 新車を対象とした衝突被害軽減ブレーキ義務付けの検討状況
 - イ ペダル踏み間違い時加速抑制装置等に係る補助制度や限定免許導入の検討状況